

あなたは自分のお仕事が好きになれますか

バブル崩壊後の経済低成長と不況に加え、今回東日本大震災は日本にこれまでに経験したことのない失業率と就活困難時代をもたらしています。“ゆとりのある教育”と安穩としている間に日本人の働くことの意義が変質してきたように思います。ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ（多様性）、ロハス（健康で持続性のある生活スタイル）といった言葉があふれています。

今一生懸命働かない人や本当に支援を必要とされない社会的弱者（仮面弱者）の増加がみられます。

このままで日本は大丈夫なのでしょう。政治家は、官僚は、原発とエネルギー対策は、いや大震災避難民でさえ行き先が見えない状況です。ただ首相の頸を挿げ替えるだけで解決されるものなのでしょうか。もっと政治家も、役人も、国民一人ひとりも協働の心をもとに国力の回復に努力すべきではないでしょうか。

仕事と労働とは同質だと思いますか。働くとは一体どういうことか、喰うために働くのか、生きるために働くのか、よく働くことはよく生きることにつながるとは思いませんか。

あなたは自分の仕事が好きになれますか。どのように仕事に取り組むかによって人生は幸せにも不幸にも、あるいは人生そのものが決まってしまうかねません。好きこそものの上手なれ、できることは好きになる、好きになったことは上手になる、上手になったことは好きになれる。まずは与えられた仕事を好きになるまでとことんやってみる。好きになるまで逃げない。夢は仕事のなかにあり自分で把んでいくものでしょうが、とても続けられそうになれば去ることも選択肢のひとつです。

このように働く環境を選ぶことは大切ですが、自分を潰してしまわない程度にほんの少し頑張ってみる。仕事にひと手間かけて周囲の人を喜ばしてみる。自分にとって本当に必要と思われる、自己を高める資格に挑戦してみる。それにも増して目の前に与えられたことに対して納得だけに終わらない行動をとる。そういった行動のなかから仕事の持つ意味（work=life）が見えてくるのではないのでしょうか。

（働くということこそ人間の人間たるゆえんである　ーヘーデルー　）

参考書：ワーク・ライフの時代
ー仕事が好きになれる働き方ー
（中川美紀著　ベスト新書）
はまゆう倶楽部図書

平成 23 年 6 月 6 日
理事長　市丸　喜一郎